

# 徳之島町立山小学校 ～千人踊りの伝承活動～



古くは一家の安全と繁栄，五穀豊穡を祈願し，集落の守護神が祀られているナゴリ山神社で盛んに踊られていた。昨今は，浜下りや豊年祭等の集落行事の終わりに踊られるようになり，伝承を目的に学校行事（運動会や学習発表会等）でも老若男女入れ混じり，踊り継がれている。

民謡保存会の生唄・生演奏に合わせ踊る。隊形は唄者・演奏者を中心に輪となる。主に「なおとみしゅう」や「TEEふいふい」，「ミンチャサヤー」等の踊りを繰り返し踊る。踊りは単調なので見よう見まねで大変覚えやすい。

毎年郷土教育の一環として，千人踊りの練習・発表の場を教育活動に位置付けている。指導については毎年日時等も含め，管理職が打合せを行い集落の民謡保存会の方々に協力依頼し，全面的にバックアップしていただいている。

千人踊りを長く継承していくために，民謡保存会の方々の直接指導の他に発表ビデオを視聴しながら，教児ともに練習する場も設けている。毎年，運動会と学習発表会のプログラムに位置付けることで，今後も継続的に地域と連携して千人踊りを伝承していける体制を整えている。